

(別紙5)

整理番号 2018P-077
補助事業名 平成30年度 検診車の整備 補助事業
補助事業者名 一般財団法人 中部公衆医学研究所

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

胸部デジタル検診車の導入により効率的な健診を実施し、多くの住民及び企業職員の実施機会を増やします。また、大容量バッテリーの設置により実施回数の増加に伴う公害の発生も抑制します。

(2) 実施内容

胸部X線デジタル検診車 (<https://www.chubukosyu.or.jp/news/346/>)



検診車側面



検診車内撮影室



検診車内撮影操作位置



検診車後部

2 予想される事業実施効果

精度管理の向上により地域住民の公衆衛生の増進に寄与します。

環境公害及びそれに伴う健康被害の防止により、地域環境の保全及び健康維持に寄与します。

多国籍受診者の受診により、より多くの方の健康維持に寄与します。

3 印刷物等

本事業に係わる印刷物等（弊所機関誌「中部公衆だより 20号（2019年4月発行）」）
※2019年5月中には弊所ホームページ上に機関誌閲覧ページを作成する予定です。

公益財団法人JKA競輪補助事業の完了のお知らせ

当財団では、地域の健康診断での更なるニーズにお応えするために、胸部X線検診車のデジタル化を進めて参りましたが、この度、公益財団法人JKAから「平成30年度胸部検診車の整備補助事業」の補助金交付を受け、平成31年3月に胸部X線デジタル検診車を導入致しました。

○平成30年度胸部検診車の整備補助事業

事業内容：胸部X線デジタル検診車の整備
補助金額：21,500,000円
実施場所：長野県飯田市高羽町6丁目2-2
完了年月日：平成31年3月5日



○導入した胸部X線デジタル検診車の特徴

①大容量インバーター発電システム

従来の発電機による電源の確保に比べ、排気ガスの発生や騒音・振動がなく、快適な環境で検診ができます

②メディカルボイス5ヶ国語

外国籍の受診者様の撮影の際にはご苦勞をお掛けしておりましたが、この度導入の検診車では、英語・ポルトガル語・中国語・韓国語・日本語でのアナウンスを簡単に切り替えることができますので、外国籍の方も安心して受診して頂くことが可能となりました。



○全ての胸部X線検診車がデジタル化されました

鮮明な画像が得られ、データベース化により画像の比較も容易になり、より正確な判定をご提供できます。また、現像液の使用もなくなりますので環境負荷も軽減されます。

今回の導入により、精度の向上・環境負荷の低減・外国籍の方々への配慮が進みましたので、地域住民の方々の胸部疾患の早期発見による健康保持・増進へ更に貢献致します。

一般財団法人 中部公衆医学研究所
理事長 西澤 良斉

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般財団法人 中部公衆医学研究所
(チュウブコウシュウイガクケンキュウジョ)

住 所： 〒395-0051
長野県飯田市高羽町6丁目2-2

代 表 者： 理事長 西澤 良斉

担 当 部 署： 健康管理部 (ケンコウカンリブ)

担 当 者 名： 次長 筒井 信博 (ツツイ ノブヒロ)

電 話 番 号： 0265-24-1505

F A X： 0265-21-3008

E-mail: n.tutui@chubukosyu.or.jp

U R L: <https://www.Chubukosyu.or.jp>